

9

午後

(13時30分～15時30分)

問 題

- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午後の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、解答用紙に鉛筆又はシャープペンシルを使用して、左の欄に氏名を記入してください。次に、右の欄に受験票に記載されている受験番号を記入し、受験番号を塗りつぶしてください。

(例) 受験番号 1A-9999 の場合

氏 名	心理 花子			受験 番号	1	A	-	9	9	9	9
	●	●			①	①	①	①			
				②	②	②	②	②	②	②	②
				③	③	③	③	③	③	③	③
				④	④	④	④	④	④	④	④
				⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
				⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
				⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
				⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
				●	●	●	●	●	●	●	●

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 次のうち海に面していない県について、正しいものを 1 つ選べ。

- ① 青森県
- ② 岐阜県
- ③ 兵庫県
- ④ 宮崎県

正解は②であるから解答用紙の②をマークすればよい。

1	①	②	③	④
		↓		
1	①	●	③	④

【例2】我が国における現在の元号として、正しいものを1つ選べ。

- ① 寛永 正解は⑤であるから解答用紙の⑤をマークすればよい。
- ② 元禄
- ③ 昭和
- ④ 大化
- ⑤ 令和

2	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

2	①	②	③	④	●
---	---	---	---	---	---

【例3】次のうち県庁所在地となっている都市名について、正しいものを2つ選べ。

- ① 川崎市 正解は③と④であるから解答用紙の③と④をマークすればよい。
- ② 倉敷市
- ③ 仙台市
- ④ 高松市
- ⑤ 北九州市

3	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

3	①	②	●	●	⑤
---	---	---	---	---	---

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読装置によって行います。解答用紙への記入はHBの鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●~~○~~~~◎~~~~⊙~~~~⦿~~ (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。
5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問78 患者や家族と医療者の間で、治療方針や価値観の違いがある場合、中立的な第三者が介入し、対話を通して相互理解と合意形成を支援する方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① コオペレーション
- ② コラボレーション
- ③ メディエーション
- ④ コンサルテーション
- ⑤ ファシリテーション

問79 事例提供者が簡単な事例資料を準備し、心理的に安全な雰囲気の中で、ファシリテーターと参加者の相互作用を通じて事例を検討する方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ピアスーパービジョン
- ② エンカウンター・グループ
- ③ グループスーパービジョン
- ④ SAS(the systems approach to supervision)
- ⑤ PCAGIP(person-centered approach group incident process)

問80 組織的事故は、単独で発生するものではなく、複数の事象が連鎖して発生するという考え方に該当するものを1つ選べ。

- ① ヒヤリ・ハット
- ② ヒューマンエラー
- ③ ハインリッヒの法則
- ④ スイスチーズ・モデル
- ⑤ スタンダードプリコーション

問81 M. Lewis が提唱した感情発達モデルにおける自己意識的感情のうち、自己評価の発達を前提とする感情として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 共感
- ② 恐怖
- ③ 嫌悪
- ④ 羨望
- ⑤ 誇り

問82 研究において、予想していなかった結果を初めから予測していたかのように報告することを表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ひょう窃
- ② HARKing
- ③ *p*-hacking
- ④ 結果のねつ造
- ⑤ 出版バイアス

問83 質問紙において、1つの質問項目の中に2つの質問内容が含まれている状態を表す用語を1つ選べ。

- ① 二重課題
- ② 二重符号化
- ③ ダブルバーレル
- ④ ダブルバインド
- ⑤ ダブルブラインド

問84 色覚に関わり、中心窩に分布している網膜の細胞として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 桿体細胞
- ② 錐体細胞
- ③ 双極細胞
- ④ 神経節細胞
- ⑤ 色素上皮細胞

問85 視覚情報処理に関わる注意の性質として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 注意は先回りして移動しない。
- ② 注意は外的要因によって引き付けられない。
- ③ 注意は同時に複数の物体に向けることができる。
- ④ 注意を一度に向けることができる範囲は変化しない。
- ⑤ 注意を向けることは視線を向けることと同一である。

問86 H. P. Grice の会話の協調の原理〈cooperative principle〉に関係が深いアプローチとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 意味論
- ② 音韻論
- ③ 形態論
- ④ 語用論
- ⑤ 統語論

問87 てんかん発作の全般化に関与し、左右の大脳半球間の情報伝達を担う脳の構造として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 海馬
- ② 視床
- ③ 脳梁
- ④ 扁桃体
- ⑤ 視床下部

問88 ある集団の成員であることと、特定の性格や行動傾向を持つこととは無関係であるにもかかわらず、あたかも関係があるかのように認知することを表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 級内相関
- ② 錯誤相関
- ③ 集団錯誤
- ④ 最小条件集団
- ⑤ 内集団バイアス

問89 社会的知識は道徳、慣習及び個人という異なる知識から構成されるとする理論やモデルとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① J. Piaget の認知発達理論
- ② E. Turiel の社会的領域理論
- ③ J. Haidt の社会的直観モデル
- ④ L. Kohlberg の道徳性発達理論
- ⑤ R. L. Selman の役割取得能力による道徳理論

問90 科学的な根拠に基づいた妥当性のある指導を行い、指導に対する反応を踏まえて指導の頻度や内容を変えていくという、予防と介入の支援モデルとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① PDP モデル
- ② RTI モデル
- ③ A-B-X モデル
- ④ HEXACO モデル
- ⑤ BIS-BAS モデル

問91 自閉スペクトラム症のスクリーニングツールである M-CHAT が測定している対象として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 共同注意
- ② 実行機能
- ③ 協調運動機能
- ④ 感覚過敏・鈍麻
- ⑤ 中枢性統合機能

問92 外的刺激がないにもかかわらず、対象が実在するかのように体験される知覚の異常を説明する用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 幻覚
- ② 錯覚
- ③ 失認
- ④ 妄想
- ⑤ パラノイア

問93 描画法のうち、検査者と被検査者が相互に描画を繰り返すものを1つ選べ。

- ① HTP
- ② KFD
- ③ スクイグル
- ④ バウムテスト
- ⑤ グッドイナフ人物画検査

問94 DN-CAS 認知評価システムが基盤とする知能理論として、正しいものを1つ選べ。

- ① 鼎立理論
- ② ABC 理論
- ③ CHC 理論
- ④ PASS 理論
- ⑤ 多重知能理論

問95 クライアントとセラピストが協働して、クライアントが抱える問題ではなく、できていることや望む未来に焦点を当てる心理療法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 実存的心理療法
- ② ゲシュタルト療法
- ③ 解決志向アプローチ
- ④ マインドフルネス認知療法
- ⑤ アクセプタンス&コミットメント・セラピー

問96 緊急事態や危機的体験の直後に提供され、支持的かつ非侵襲的に行われる心理社会的支援法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 持続エクスポージャー法
- ② 心理的デブリーフィング
- ③ トラウマ・インフォームド・ケア
- ④ サイコロジカル・ファーストエイド
- ⑤ ソーシャル・エモーショナル・ラーニング

問97 J. O. Prochaska らの多理論統合モデル<Transtheoretical Model>において、自分の問題克服のために行動や経験、環境を変える取組を始めた段階として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 維持期
- ② 実行期
- ③ 準備期
- ④ 関心期(熟考期)
- ⑤ 前関心期(前熟考期)

問98 E. T. Gendlin が提唱した、個々人が直接参照可能な、今この瞬間に生起する感じの流れを表す概念に該当するものを1つ選べ。

- ① 純粹性
- ② 体験過程
- ③ 共感的理解
- ④ マインドフルネス
- ⑤ 関与しながらの観察

問99 飛沫感染で広がり、高熱と全身の筋肉痛や関節痛を特徴とし、小児では脳症を合併することがある感染症として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 麻しん
- ② 手足口病
- ③ 咽頭結膜熱
- ④ インフルエンザ
- ⑤ 流行性耳下腺炎

問100 肥満度を評価する Body Mass Index(BMI)の算出方法として、正しいものを1つ選べ。

- ① 体重(kg)÷身長(m)
- ② 身長(m)÷体重(kg)
- ③ 体重(kg)÷[身長(m)の2乗]
- ④ 身長(m)÷[体重(kg)の2乗]
- ⑤ 体重(kg)÷[身長(m)の3乗]

問101 ストレス応答の際に副腎皮質から分泌され、強力な抗炎症作用を有するホルモンとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① インスリン
- ② アドレナリン
- ③ コルチゾール
- ④ アルドステロン
- ⑤ ノルアドレナリン

問102 要介護認定で「自立」と判定された者が利用できる高齢者支援サービスに該当するものを1つ選べ。

- ① 介護医療院
- ② 認知症グループホーム
- ③ 軽費老人ホーム(ケアハウス)
- ④ 介護老人保健施設(老人保健施設)
- ⑤ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

問103 入所型の児童福祉施設などにおいて、心理職が日常的な関わりを活かしながら、子どもの情緒や行動に即時的に対応したり、信頼関係を構築したりする心理的支援のアプローチとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 生活場面面接
- ② 総合環境療法
- ③ ライフレビュー
- ④ ヘルスポモーション
- ⑤ ファミリーソーシャルワーク

問104 適性処遇交互作用に基づく教育方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 学習者の認知スタイルに応じて、教授法を選択する。
- ② 学習者に自ら試行錯誤させ、問題の構造や規則性を発見させる。
- ③ 小集団で協力して課題に取り組み、互いの学びを促進させる。
- ④ 学習内容を細分化し、正答ごとに即時的なフィードバックを与える。
- ⑤ 先行オーガナイザーを提示し、知識に関連付けた学びを習得させる。

問105 成功達成欲求が強い者は難易度が中程度の課題で、失敗回避欲求が強い者は容易又は困難な課題で、それぞれ意欲が高まるとする理論として、正しいものを1つ選べ。

- ① B. Weiner の原因帰属理論
- ② A. H. Maslow の欲求階層説
- ③ R. J. Havighurst による発達課題
- ④ J. W. Atkinson の達成動機づけ理論
- ⑤ E. L. Deci と R. M. Ryan の自己決定理論

問106 障害のある子どもに対し、就学前や入学後などの場面において、教育的ニーズと必要な支援内容を整理し、関係機関と共有するために作成される文書として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 指導要録
- ② 個別の指導計画
- ③ 個別の教育支援計画
- ④ 障害児支援利用計画
- ⑤ 児童生徒理解・支援シート

問107 刑事裁判で拘禁刑以上の刑を受けた、主に16歳未満の少年を収容する少年院に該当するものを1つ選べ。

- ① 第1種少年院
- ② 第2種少年院
- ③ 第3種少年院
- ④ 第4種少年院
- ⑤ 第5種少年院

問108 社会的・構造的な差別によって不利益を被っている者に対して、実質的な機会均等を実現することを目的として行う暫定的な取組として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ノーマライゼーション
- ② ポジティブ・アクション
- ③ リスクコミュニケーション
- ④ ワーク・ライフ・バランス
- ⑤ ソーシャル・インクルージョン

問109 作業環境の物理的要因よりも、他者からの注目や関心などの心理的要因が生産性に影響する現象を説明する効果として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 聴衆効果
- ② 共行動者効果
- ③ ホーソン効果
- ④ ピグマリオン効果
- ⑤ リンゲルマン効果

問110 高齢者に多く、生活の質に影響を及ぼす白内障の初期症状として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 目の痛み
- ② 目の充血
- ③ 視野の狭窄
- ④ 視野の欠損
- ⑤ 目のかすみ

問111 科学的根拠に基づき、現時点において有効性と安全性が最も優れているとされる医療又は治療に該当するものを1つ選べ。

- ① 緩和医療
- ② 先進医療
- ③ 標準治療
- ④ 根治的治療
- ⑤ 集学的治療

問112 卵巣の黄体から分泌され、妊娠を維持し、月経前症候群に参与しているホルモンとして、正しいものを1つ選べ。

- ① エストロゲン
- ② オキシトシン
- ③ プロラクチン
- ④ テストステロン
- ⑤ プロゲステロン

問113 脳波検査において、棘波(スパイク)が出現した場合に考えられる病態として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① うつ病
- ② せん妄
- ③ 認知症
- ④ てんかん
- ⑤ 統合失調症

問114 めまいやふらつき、失神などの原因になることから、高血圧症の治療のためにカルシウム拮抗薬を服用している高齢者が、摂取を避けるべき食品として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 牛乳
- ② 納豆
- ③ カフェイン
- ④ ブロッコリー
- ⑤ グレープフルーツ

問115 精神科通院医療の自己負担額を公費負担で軽減する制度として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 障害年金
- ② 療育手帳
- ③ 訓練等給付
- ④ 傷病手当金
- ⑤ 自立支援医療

問116 「心理的負荷による精神障害の認定基準」において、業務による心理的負荷の強度(強・中・弱)の分類の基になっているものを1つ選べ。

- ① 労働者本人の性格傾向
- ② 精神症状の重症度や診断名
- ③ 労働者の一般的な受け止め方
- ④ 労働者の年齢、性別、勤続年数
- ⑤ 本人の主観的なストレスの訴えの強さ

問117 質的研究において、複数の方法や対象者を組み合わせて、多角的な視点から対象を立体的に理解することを目指すアプローチとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ディスコース分析
- ② 理論的サンプリング
- ③ フォーカス・グループ
- ④ オープン・コーディング
- ⑤ トライアングレーション

問118 J. E. Marcia が提唱したアイデンティティ地位に該当しないものを1つ選べ。

- ① 早期完了
- ② 没個性化
- ③ モラトリアム
- ④ アイデンティティ拡散
- ⑤ アイデンティティ達成

問119 高齢者虐待に関して、地域包括支援センターが担う役割として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 地域住民からの虐待通報を受け付ける。
- ② 虐待の事実確認のために訪問調査を行う。
- ③ 虐待被害者を一時保護する措置を講じる。
- ④ 虐待防止に向けて、家族介護者の相談を受ける。
- ⑤ 高齢者虐待防止ネットワークを構築・運営する。

問120 いじめの重大事態発生後、スクールカウンセラーに求められる対応に含まれないものを1つ選べ。

- ① 警察との連絡調整
- ② 再発防止に関する助言
- ③ 聴き取り調査内容の整理
- ④ 被害児童生徒の心のケア
- ⑤ 児童生徒や教職員の状況把握

問121 医療法に基づく地域医療計画において定める「5疾病」に含まれないものを1つ選べ。

- ① がん
- ② 糖尿病
- ③ 脳卒中
- ④ 精神疾患
- ⑤ 慢性腎臓病

問122 身体信号が速やかな意思決定を可能にし、適応に貢献するとされている感情理論として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① キャノン・バード説
- ② 顔面フィードバック仮説
- ③ シャクター・シンガー説
- ④ ソマティック・マーカー仮説

問123 J. Bowlby が示したアタッチメントの発達段階のうち、第2段階に当たる子どもの行動の例として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 見慣れない人に対して恐れを示し、関わりを避けようとする。
- ② 相手が誰であれ、人の声を聞いたり人の顔を見たりすると泣きやむ。
- ③ 相手が誰であれ友好的な反応を示すが、日常関わりの多い特定の人があやすと特によく笑う。
- ④ 日常関わりの多い特定の人について、その行動を予測し、自分の目標を修正したり相手に計画の変更を求めたりする。

問124 2022年(令和4年)に改正された児童福祉法に基づいて実施されている、子どもの意見聴取等措置に関する記述として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 聴取は1回にとどめる。
- ② 保護者は対象者に含まれる。
- ③ 実施は児童相談所の義務である。
- ④ 一時保護中の子どもは対象外である。

問125 プロファイリングの科学的な手法を確立した人物を1つ選べ。

- ① D. Canter
- ② G. H. Gudjonsson
- ③ S. Rollnick
- ④ W. Healy

問126 認知機能が階段状に低下し、早期から神経学的症状や遂行機能障害を伴うことが多い認知症として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 血管性認知症
- ② 前頭側頭型認知症
- ③ レヴィ小体型認知症
- ④ アルツハイマー型認知症

問127 ある罪となるべき事実について起訴された被告人に対して行われる、当該事実に関する次の刑事手続として、正しいものを1つ選べ。

- ① 捜査
- ② 公判
- ③ 判決
- ④ 刑の執行

問128 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(教育機会確保法)に関する内容として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 社会教育委員の設置
- ② 民間の団体やその他の関係者との連携
- ③ 夜間等に授業を行う学校における就学機会の提供
- ④ 不登校児童生徒の学習支援を行う公立の教育施設の整備

問129 公認心理師法で規定されている内容として、正しいものを2つ選べ。

- ① 登録事項の変更の届出は、義務である。
- ② 公認心理師資格は、5年ごとの更新が必要である。
- ③ 公認心理師でない者でも、名称中に心理師という文字は使用できる。
- ④ 公認心理師でなくなった後、業務に関して知り得た人の秘密の保持義務はなくなる。
- ⑤ 業務を行うに当たっては、保健医療、福祉、教育等を提供する者やその他の関係者との連携を保たなければならない。

問130 J. H. Schultz によって創始された自律訓練法について、適切なものを2つ選べ。

- ① 自身の身体感覚に受動的注意を向ける。
- ② 一度の訓練時間が長いほど効果的である。
- ③ 訓練公式とは異なる心理的・生理的反応が生じる。
- ④ 副交感神経優位から交感神経優位な状態へ移行する。
- ⑤ リラックスした状態を維持するための消去動作を行う。

問131 労働安全衛生法に規定されたストレスチェック制度において、厚生労働大臣が定める研修を修了した場合に、その実施者になることができる職種として、正しいものを2つ選べ。

- ① 公認心理師
- ② 社会福祉士
- ③ 臨床検査技師
- ④ 精神保健福祉士
- ⑤ 産業カウンセラー

問132 分布の形が左右対称である確率分布を2つ選べ。

- ① F 分布
- ② t 分布
- ③ 指数分布
- ④ 正規分布
- ⑤ カイ 2 乗分布

問133 東大式エゴグラム〈TEG〉の説明として、適切なものを2つ選べ。

- ① 5 因子理論に基づいている。
- ② 検査用紙への記入は検査者が行う。
- ③ 結果は回答者の無意識的な防衛機制を反映している。
- ④ 妥当性尺度を用いて被検査者の回答態度を評価する。
- ⑤ プロフィール表で自我状態のバランスを視覚的に把握できる。

問134 森田療法の技法として、適切なものを2つ選べ。

- ① 自己暗示を用いて全身の緊張を緩和する。
- ② 症状や感情を「あるがまま」に受け入れる。
- ③ 両価的状态を解消させるために行動変容を促す。
- ④ 重要な他者から「してもらったこと」を想起する。
- ⑤ 日記指導を通じて自己の体験を客観的に記録する。

問135 学校保健安全法で規定されている内容として、適切なものを2つ選べ。

- ① 就学時の健康診断の実施
- ② 児童虐待の早期発見と通告
- ③ 危険等発生時対処要領の作成
- ④ いじめの早期発見のための措置
- ⑤ 消防と連携した防災教育の実施

問136 ある研究で自尊心について測定しようと考えた。「自己」「他者」という2つの概念と、「良い」「悪い」という2つの属性を取り上げ、コンピュータ画面の上側左に「自己または良い」、上側右に「他者または悪い」と呈示した。参加者には、画面中央に呈示された刺激語が、「自己」または「良い」に当てはまるなら左のキーを、「他者」または「悪い」に当てはまるなら右のキーをできるだけ速く押すことを求めた。さらに、「自己」または「悪い」、「他者」または「良い」でも同様の反応を求めた。これらの課題の反応時間の差を分析した。

この手法の名称として、正しいものを1つ選べ。

- ① SD 法
- ② リッカート法
- ③ 潜在連合テスト
- ④ マグニチュード推定法
- ⑤ リーディングスパンテスト

問137 重力についての乳児の理解を調べる実験を行った。まず、乳児に、2つの箱が床に縦に積まれた形で置かれている様子を見せた。そして、乳児の目の前で、下段の箱を横から引き抜いた。その際、上段の箱が、条件Aでは重力に従って床に落ち、条件Bでは重力に逆らって宙に浮いたように見えるようにした。条件Aと条件Bの試行を別々に行い、上段の箱に対する乳児の注視時間を条件間で比較した。

この研究手法の名称として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 恒常法
- ② 期待違反法
- ③ 選好注視法
- ④ 振り向き法
- ⑤ 馴化 - 脱馴化法

問138 26歳の女性A、営業職。最近、記憶が途切れることがあると訴え、精神科クリニックを受診した。Aによると、半年前、重要な取引先との商談で失敗し、帰社後に上司から厳しく叱責された。その日の夜、手帳にメモがあるにもかかわらず、商談後半の記憶がすっかり抜け落ちていることにショックを受けた。その後、朝、鏡を見るとすでに身支度が済んでいることがあったり、出勤途中、気が付いたら会社の最寄り駅で降りていたが、電車に乗った記憶がなく、夢の中にいるように感じたことがあったりする。メールの返信が届いても、自分が相手に送信した覚えがなく、不安を感じることもあるという。

Aの病態理解のために実施する心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① DES
- ② IES-R
- ③ LSAS-J
- ④ MMSE
- ⑤ STAI

問139 25歳の女性A、金融会社勤務。特定の数字を見ると強い不安を感じ、仕事に支障を来すようになったため、会社の健康管理室を訪れた。Aによると、半年前に転職したが、会社の書類に「4」や「9」など不吉と思う数字を目にすると、「ノルマを達成できないのではないか」という考えが頭から離れず、業務に集中できなくなった。A自身は「こんな考えは馬鹿げている」と理解しているが、深呼吸を7回して気持ちを落ち着かせようとするのが欠かせない。最近では、通勤電車の広告に不吉な数字を見つけるたびに、次の駅で電車を降りることを繰り返し、会社に1時間以上遅刻してしまうこともあるという。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① うつ病
- ② 強迫症
- ③ 社交不安症
- ④ 全般不安症
- ⑤ 限局性恐怖症

問140 20歳の男性A、大学生。手術後5日目である。退院前に、公認心理師Bにアセスメントが依頼された。Aは3か月前に交通事故に遭い、軽度の頭部外傷で総合病院に搬送された。頭部CT検査では異常が認められず、入院することなく帰宅した。その後の日常生活に支障はなかったが、2か月前から頭痛と物忘れが増えた。講義の内容が分からなくなり、期末試験の勉強も計画通りに進められず、多くの科目で不合格となった。家族に連れられ、総合病院を再受診したところ、頭部CT検査で血腫がみつき、緊急入院となり手術を受けた。Aは「大学のことを考えると、不安になったり落ち込んだりする」と話している。

Bが行う心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① BDI-II
- ② HDS-R
- ③ SLTA
- ④ STAI
- ⑤ WCST

問141 36歳の男性A、会社員。同僚からの勧めで心療内科クリニックを受診した。Aによると、1年前に部署を異動してから、重要なプロジェクトに関わり、残業も増え、半年前からは寝付きが悪くなり、集中力が落ちて仕事上のミスも目立つようになった。朝起きたときから気分が重く、何をするのもおっくうに感じる。休日はほとんど家で横になって過ごし、以前は楽しみにしていた趣味もしなくなった。外出や人付き合いも避けがちになっているという。主治医は投薬の反応をみて、改善傾向にあることを確認したため、公認心理師Bに認知行動療法の実施を依頼した。

Bが行う認知行動療法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 認知処理療法
- ② 系統的脱感作法
- ③ 行動活性化療法
- ④ エクスポジチャー
- ⑤ ソーシャル・スキルズ・トレーニング

問142 21歳の女性A、大学生。Aは、昔から友人に裏切られることが多く、関係が長続きしないという主訴で学生相談室に通っている。Aによると、大学入学後、所属するサークルで出会った先輩Bに毎日のように相談していた。Aは、「Bさんは私のことを分かってくれる最高の先輩だ」と慕っていた。しかし、ある回の面接の前日、深夜にBに電話をしたところ、「時間が遅いから今は話せない」と断られたという。Aは面接室で、「Bさんは最低の人間です」と泣きながら訴え、強い憤りを示した。

この事例から読み取れるAの防衛機制として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 退行
- ② 否認
- ③ 分裂
- ④ 抑圧
- ⑤ 反動形成

問143 20歳の男性A、大学生。日中の強い眠気を訴えて大学の保健センターを訪れた。Aによると、1年ほど前から日中の強い眠気に悩まされており、講義や食事の最中に突然眠ってしまうことが多い。夜間は8時間ほど睡眠をとっているにもかかわらず、大学の友人からは「夜寝ていないのでは」と言われたことがある。また、入眠時に夢のような映像が見えることや、目覚めた直後に身体が動かないことがある。最近、友人とふざけて笑ったときに身体の力が抜けてしゃがみ込み、意識はあるが身体が動かない状態になった。眠気のために勉強することが難しく、試験の成績も低下しているという。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① てんかん
- ② 睡眠時遊行症
- ③ 反復性過眠症
- ④ ナルコレプシー
- ⑤ レム睡眠行動障害

問144 45歳の女性A、夫Bと二人暮らし。腹痛や頭痛、動悸などの症状を訴え、総合病院内科を受診した。Aによると、1年ほど前からこれらの症状が気になり始め、これまで複数の病院を受診してきたが、原因は分からなかった。痛みが強いため、半年前から外出を控えるようになり、買い物や友人との交流も減った。Bからは「気にしすぎだ」と繰り返し言われ、夫婦関係も悪化している。Aは担当医に「この痛みが続く限り、普通の生活はできません」と不安そうに訴えた。精密検査が行われ、異常は認められなかったとの説明を受けたが、Aは「何かの病気が隠れていると思います」と納得せず、再検査を求めた。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 適応障害
- ② 社交不安症
- ③ 身体症状症
- ④ 全般不安症
- ⑤ 病気不安症

問145 7歳の男児A、特別支援学校小学部1年生。Aには知的障害があり、食事や入浴、排せつなど日常生活全般で支援を要する。Aは父親Bと二人暮らしで、近隣に住む祖母の介助を受け、通所の療育機関を利用していた。ある日、療育機関から児童相談所に、「Bが転職したらしく、Aを送迎しても不在続きで心配だ。祖母は緊急入院したらしい」と相談があった。児童相談所がBと面談をすると、「転職後、子育てとの両立が難しくなりどうしたらよいか分からない」と涙ぐんだ。児童相談所は、Bの就労状況や経済状態、他の親族の支援体制などを総合的に検討し、Aには施設入所による支援が必要であると判断した。

今後Aが入所する施設として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 救護施設
- ② 障害者支援施設
- ③ 児童心理治療施設
- ④ 医療型障害児入所施設
- ⑤ 福祉型障害児入所施設

問146 78歳の男性A、1年前に妻を亡くし自宅で一人暮らし。半年ぶりに訪問した長男Bから、地域包括支援センターに対し、買い物支援に関する相談があった。BによるとAは、信号を渡り切れないことが不安で、買い物に行くのが不自由になったと嘆いている。姿勢も良く、腰痛やふらつきもないが、歩くスピードが近頃遅くなっている。握力も弱くなり、ペットボトルのキャップを開けるのに苦労している。一方で、自宅では、オンラインの囲碁大会に積極的に参加したり、趣味の盆栽を楽しんだりしている。食欲もあり、体重も変わっていないが、Bに「足が少し細くなった」と話すという。

Aの状態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① アパシー
- ② フレイル
- ③ 廃用症候群
- ④ サルコペニア
- ⑤ パーキンソン病

問147 13歳の男子A、中学1年生。5歳から入所していた児童養護施設において、年少児の身体に複数回不適切に触れるという行動を起こし、児童自立支援施設に措置変更された。Aは施設内で年少児の世話を好んだが、次第に過度な接触を図ろうとしたため、施設心理職Bが面談を行った。Aは、「人の役に立ちたいし、同年代とも仲良くなりたいが、誰も分かってくれない」と語った。Bは質問を重ねて、同年代と良好な関係を持ちたいというAの希望を基に、健全な交流方法を一緒に考えて、ロールプレイで練習した。また、世話好きという強みを活かせるボランティア活動を提案し、共に参加した。

Bの支援の理論的枠組みとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ゼロトレランス
- ② コーシャス・シフト
- ③ ハームリダクション
- ④ グッド・ライブス・モデル
- ⑤ リアリティ・オリエンテーション

問148 7歳の男児A、小学2年生。半年前に児童養護施設に入所した。

施設内に勤務する公認心理師が、主任保育士からAの状態について相談を受けた。Aは乳児期に居室内で数日間放置され、その後も居所を転々とした。夜間徘徊により保護され、6歳時に現在の施設に入所した。入所初日から職員たちになつく様子を見せ楽しそうであったが、寝付きが悪かった。施設内では、初めて会う来客や実習生にも警戒なく近づき、手をつないだり膝に座ろうとしたりすることがある。学校でも同級生との関わりは少なく、通学路では見知らぬ人に「お家に連れて行って」と頼んだという。

Aの状態の理解として、適切なものを1つ選べ。

- ① レット症候群
- ② ウィリアムズ症
- ③ 注意欠如多動症
- ④ 脱抑制型対人交流障害
- ⑤ 反応性アタッチメント障害

問149 10歳の女兒A、小学4年生。軽度の難聴がある。Aの学習上の困難について、母親Bが教育センターに相談を申し込んだ。Bによると、Aは通常学級に在籍しているが、座席配置の調整や板書による支援などの合理的配慮を受け、小学3年生まで大きな問題はなかった。しかし、小学4年生になり、英語の授業が始まると、教師の話が聞き取れないことが増えた。さらに、国語の授業でも長文の読解が難しくなった。特に、複雑な文の構造や、抽象的な表現の理解に時間がかかり、苦勞している。小学3年生のときに受けた、絵画語い発達検査の結果では、年齢相応であったという。

Aの学習を支援するために実施すべき心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Conners 3
- ② KABC-II
- ③ SCT
- ④ Vineland-II
- ⑤ WMS-R

問150 14歳の女子A、中学2年生。父親Bと二人暮らしである。1か月以上欠席が続いているため、スクールカウンセラーCが担任教師Dと共に家庭訪問を行った。Aの部屋はカーテンが閉じられ、暗く、Aはベッドに横になったままじっとしていた。Cの声掛けに対し、返事はなかった。Bによると、Aは朝になっても部屋から出ようとせず、一日中部屋に閉じこもっている。食事もお菓子を時折食べるだけで、極度に痩せてきた。以前は、学校の話をよく聞かせてくれたが、最近は会話もほとんどない。Bは仕事で忙しく、Aの様子が気になっているが、日中はAを一人にしているという。

CがBとDに提案するAへの支援として、優先すべきものを1つ選べ。

- ① 医療機関の受診
- ② 食事内容の改善
- ③ 生活リズムの改善
- ④ 教育センターへの相談
- ⑤ 欠席期間中の授業の補習

問151 14歳の男子A、中学2年生。体育館で喫煙しているところを担任教師に見つかり、母親Bに連絡が入った。Bによると、Aは小学生の頃はおとなしかったが、中学受験に失敗して以来、反抗的になった。コンビニエンスストアで缶ビールを万引きして補導されたり、Bの財布から現金を盗み、注意したBを殴って怪我をさせたりしたこともあるという。中学校では、入学直後から、同級生への恐喝や、教室の備品の破壊、無断下校などの問題行動を繰り返している。授業中にいらいらして教室を飛び出すことも多いが、成績は中程度である。Bは、「厳しくしつけてきたのに、なぜこうなったのか分からない」と困惑している。

Aの状態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 素行症
- ② 適応障害
- ③ 反抗挑発症
- ④ 注意欠如多動症
- ⑤ 自閉スペクトラム症

問152 18歳の男子A、少年院入所中。Aは、趣味のカード収集のための金銭欲しさから民家に空き巣に入って保護観察となったが、保護観察中にも再犯をし、少年院送致となった。Aは軽度の知的障害があり、少年院では支援教育課程で教育を受けている。Aは、過去に、父母に金銭を無心し物を投げるなど暴れることが頻回にあったため、父母は引き取りを強く拒否している。Aは、自立して生活することは困難な状況である。保護観察所は少年院と協議し、Aについて帰住先の確保や出院後必要な福祉サービスが受けられるよう、調整を行うことにした。

保護観察所が優先的に連携する機関として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 児童発達支援センター
- ② 少年サポートセンター
- ③ 精神保健福祉センター
- ④ 法務少年支援センター
- ⑤ 地域生活定着支援センター

問153 29歳の男性A、精密機器製造企業の従業員。入社以降5年にわたり専門性の高い業務を担当していることに喜びを感じて、自主的に業務改善の提案を上司に行っていた。この行動が社内で評価され、会社は「優秀提案賞」の制度を設けて、報奨金を出すようになった。制度創設後には、A以外の社員も提案を行うようになり、Aが受賞することもあったが、他の社員が受賞する機会も増えてきた。最近のAは、「褒められないとやる気が出ない」、「報奨金をもっと増額してくれると頑張れるのに」と言うようになり、自発的な提案は減少してきた。

この現象を表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ハロー効果
- ② バンドワゴン効果
- ③ プライミング効果
- ④ フレーミング効果
- ⑤ アンダーマイニング効果

問154 45歳の男性A、中堅金融会社の人事労務担当者。会社の業績は好調であるが、このところ、メンタルヘルスの不調を来す従業員が立て続けに出現したため、健康管理室に勤務する公認心理師Bに相談した。Aが勤務する会社では、感染症対策として導入されたテレワークが制度として定着したところであった。従業員は、上司の指示に即応することが求められている。Bは、テレワークが導入されたことによる業務態様の変化が従業員の負担になっているのではないかと考え、Aに対策を検討するよう助言した。

考えられる対策として、適切なものを2つ選べ。

- ① 休憩時間の一斉付与
- ② みなし労働時間の導入
- ③ 時間外、休日又は深夜の上司からのメール送付の抑制
- ④ テレワーク先から常時アクセス可能なシステムの設定
- ⑤ パソコンの使用時間の記録などを利用した労働時間の把握

